

令和5年度

社会福祉法人 景福会

事業計画書

令和5年3月25日

基本理念

「和顔愛語」

おだやかな笑顔(和顔)と、思いやりのある話し方(愛語)で人に接します。

基本方針

「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、以下を実践していきます。

1. 利用者様の人権を尊重し、個人の尊厳が守られる福祉サービスを提供します。
2. 利用者様のプライバシー・個人情報を保護し、信頼性の高いサービスを提供します。
3. 社会福祉法人として良質かつ安全安心な福祉サービスを継続的に実施できるようにサービス品質の向上に向けた取り組みを行います。
4. 地域の様々な福祉課題、生活課題に主体的にかかわり、多様な関係機関や個人との連携・協働を図り公益的取組みを進めていきます。
5. 良質な福祉人材の確保、福祉の仕事の啓発のための情報発信、福祉教育に取り組まします。

認知症介護理念

苛立ちや不安、不穏感が高まらないよう配慮します。

目線を合わせ、笑顔で会話をし、なじみの関係を作る努力をします。

束縛や禁止のない日常生活を過ごしていただき、そして自由を大切にするための努力をします。

令和5年度事業方針

今年度は5月に予定されている新型コロナの5類引き下げにより、様々な制限が緩和され、高齢者施設等の対応は独自の判断を迫られることが多くなると予想されます。

こうした中、法人としては昨年度の目標としていた唐孔雀園特養・桜花台園小規模の稼働率はアップし増収を予想するも資金収支黒字までは至らない見込です。今年度は新型コロナへの対応もしっかり行いながら、唐孔雀園特養・ショートのさらなる稼働率のアップと同時に桜花台園の収支改善のための方策を検討していきたいと思えます。

利用者増加

両施設とも前年と同様の対応をとるとともに、進捗等のチェックを徹底していきます。

(1)唐孔雀園

入所申込があった時点で、臨時の入所判定委員会を開催してすぐに入所調整を可能にしていきます。病院のソーシャルワーカーや老健のケアマネ、居宅事業所へは「すぐに入所可能な施設」としてPRをするとともに、空き情報・受入可能利用者等の情報提供をおこない、繋がりを作っていきます。

(2)桜花台園

①地域のいきいきサロンへの訪問による高齢者への直接PR ②民生委員・児童委員協議会へ参加し施設PR ③病院のソーシャルワーカーや老健のケアマネ、居宅事業所・包括支援センター担当者との相談受付・情報提供により利用者増加を図ります。

人 事

(1) 人員および教育体制

唐孔雀園・桜花台園とも派遣職員は、現在5名(常勤換算)とピーク時に比して8名程度減少し、直接雇用職員が増加しています。

ここ2~3年の求人動向は、ハローワークの応募はないものの、紹介会社経由の未経験者の応募や外国人留学生・技能実習生の受入等の斡旋は増加傾向にあります。新人教育をしっかりと行うことにより人材確保・離職防止を図る体制・職場の環境改善・介護福祉士資格等の取得支援を実施し採用に結び付けたいと思えます。

また、引続き新卒採用のための学校訪問、各種団体主催の福祉系求人面談会に参加し

ていきます。実習生の受入れも行っていきたいと思いを。

経 費

- (1)今年度も派遣職員に頼らない職場にするため、効果的な有料媒体を使つての職員確保は積極的に進めていきます。
- (2)設備関係は、唐孔雀園はナースコール・LED 照明への変更、桜花台園は空調機器等の老朽化した設備を中心に更新して進めたいと思つています。
- (3)消耗品関係は経常的に使用し調達量の多いものから引き続き仕入れ先および商品の見直し、コスト削減を図ります。

地域貢献

(1)地域支援プロジェクト

今年度については、新型コロナの感染状況とも踏まえ、少しずつ介護予防教室等、従来行ってきたものを再開して進めます。

(2)生活困窮者就労訓練事業等への協力

生活困窮者就労訓練事業の受入事業所として、1月から1名受入れを行つています。今年度も引き続き協力して進めたいと思つています。

(3)災害時のための支援体制

桜花台園は災害時福祉避難所になっています。地域との連携を図り具体的な体制等整備を進めていきます。

各事業の基本方針等について

■唐 孔 雀 園

○基 本 方 針

新型コロナの感染状況を注視し、感染予防を徹底すると共にご利用者、ご家族及び職員の体調変化等十分に確認しながら安全なケアを心掛けて進めます。

・特養・ショート

唐孔雀園は、利用者様の尊厳をまもり、安心して生活を送って頂く場所です。

私たち施設課職員は、利用者様個々の身体・精神状況に応じた質の高いサービスを提供し、利用者様が安心して生活できるよう支援を進めていきます。

令和5年度も利用者様が、日々安心して快適な日常生活を送っていただけるように思いやりの心を持ち、笑顔で温かみのある言葉掛けを行いながら、丁寧な介護を心掛け身体面・精神面の援助を進めていきます。

認知症の利用者様については、当園の認知症介護の理念に沿った援助を行うことにより、笑顔で安心して過ごしていただくことで、認知症の進行が緩やかになるように支援します。その為に職員全員が、介護技術や接遇マナーの向上に努め、多職種連携を深めることにより

利用者様に対してより良いサービスが提供できるように資質の向上に努めていきます。

・デイサービスセンター

利用者様の残存能力の維持向上に努め、充実した在宅生活が継続できるよう支援し、利用者様個人の尊厳を大切にして質の高いサービスを提供します。

また、地域福祉の拠点として、各関係機関等と連携し、地域社会のニーズに貢献できるサービスを提供していきます。

重点項目

- 1.利用者様に常に感謝の気持ちと笑顔を忘れず、目配り、気配り、心配りを徹底します。
- 2.利用者様個々の状態を把握し、それに応じたきめ細やかなサービスの提供に努めます。
- 3.より良いサービスの提供により、利用者様ご家族等の身体的、精神的な負担の軽減するよう努めます。
- 4.居宅支援事業所の開拓、近隣地区への積極的な情宣活動等で利用者増加に努めます。
- 5.職員の専門性・技術向上のため、積極的に研修等の機会を設け、知識と技術の習得に努めます。

■桜花台園

○基本方針

職員全員が介護スキル・接遇マナーの向上に努め、利用者様により良いサービスを提供するとともに、地域密着型の施設としてそのノウハウを地域に還元していきます。

新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、ご利用者、ご家族の体調変化や帰省等によるご親族との接触などに注意を払うとともに職員の感染予防も徹底し、施設内に持ち込まない対策をとります。

・特 養

一人ひとりの状態により添ったユニットケアの基本である個別ケアを目指します。また、重度化が進む入居者様への適切なケアを実践し、本人、ご家族様にとって居心地の良い生活が送れるよう努めます。

入居者様、ご家族様が安心し望まれる生活を支えていくため、介護、看護、ケママネ、管理栄養士、医師が連携、情報を共有し統一されたケア、医療を提供できるようにしていきます。

・ショート

在宅生活に合わせたケアを目指し、運動器具の充実化を図り、軽度者から重度者の方まで広く「桜花台園なら利用したい」と言われるように個別的関わりを重視し、利用者の趣向や楽しみを見出しメリハリのある生活が送れるように努めます。

在宅生活をご家族、サービス事業所、インフォーマルサービス、担当ケアマネージャー、主治医等と情報共有し、宿泊時に適切な介護が実施できるようにします。

・小規模

利用者様の多様なニーズに応えるため、小規模多機能の特性を生かした通い、宿泊、訪問3つの機能を適切にプランニングしサービス提供できるようにします。

地域行事や地域との交流行事などを通して地域ネットワークを広げ、地域に根差した事業所を目指します。

現在の生活環境をしっかりと把握し利用者様・ご家族の思いを知ること、住み慣れた地域で生活ができるように努めていきます。

・看護

入所者様、利用者様の重度化に伴い、疾病の管理や医療処置が多く求められている中、些細な変化の早期把握・早期対応により、重症化・重篤化を回避し、その人らしい健康な暮らしが維持できるように支援します。

職員の心身状況を把握し、ストレスへの対応や疾患の早期治療を勧めていきます。

■景福会栄養・地域配食課

○基本方針

食を提供する専門職として、利用者一人ひとりの意向や問題点を細やかに把握し、個々人にあった効率的・効果的な栄養ケアの提供がより一層求められます。同時に唐孔雀園、桜花台園は生活の場でもあり、毎日の食事を楽しんでいただくために、献立作成から喫食までの一連の食事や食事環境(食事の盛付、食器、適温適時、衛生管理)にも、利用者様のニーズが反映できるよう努めていきます。

また、コロナが終息に向かえば、南溟会と連携を図り、食を通して、地域との繋がりを強化していきます。